

令和6年度長崎県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要綱

1. 目的

薬物乱用問題は全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、社会や国の安全や安定を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっている。

国連では、地球規模で拡大する薬物乱用問題の解決に取り組むために、6月26日を「国際麻薬乱用撲滅デー」と定め、加盟国が一体となって薬物乱用の根絶を目指すこととなったところである。

令和4年の我が国の薬物情勢は、依然として覚醒剤の検挙者数が薬物事犯全体の厄半数を占める一方、大麻の検挙者数が5,546人と覚醒剤の検挙者数に迫っており、「大麻乱用期」の渦中にあると言えます。中でも若年層の大麻乱用が顕著で、大麻検挙者の約7割は30代未満の若年層が占めている。

こうした状況の中、政府では令和5年8月に、「薬物乱用対策推進会議」の下で「第6次薬物乱用防止五か年戦略」を策定し、政府一丸となって総合的な薬物乱用対策に取り組んでいるところである。

また、県においても、知事を本部長として「長崎県薬物乱用対策推進地方本部」を設置し、関係機関が緊密に連携し、薬物乱用対策に取り組んでいる。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は、かかる背景の下、国内における薬物乱用防止活動において、官民一体となり、国民一人一人の薬物乱用問題に関する認識を高めるとともに、国連総会決議に基づく「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図ることにより、内外における薬物乱用防止に資することを目的として実施する。

2. 実施機関

長崎県、長崎県薬物乱用防止指導員協議会、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

3. 実施期間

令和6年6月20日(木)から7月19日(金)までの1か月間

4. 実施事項

(1) 啓発活動

① 6・26 ヤング街頭キャンペーン

ア) 場所及び期日

県内10か所(予定)

原則6月22日(土)又は6月23日(日)の午後2時間程度

イ) 実施内容

薬剤師会、保護司会、防犯協会、BBS連盟、ライオンズクラブ、ロータリークラブ等のボランティア団体と、ボーイスカウトが一緒になって「薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ。」「薬物乱用を撲滅しましょう。」を合言葉に街頭キャンペーンを行い、啓発資材を配布する。

併せて開発途上国等で薬物乱用防止活動に従事している民間団体（NGO）の活動資金として国連を通じて援助するための募金活動を実施する。

②地域団体キャンペーン

ア) 期 間

令和6年6月20日（木）から7月19日（金）まで

イ) 実施内容

薬局、医薬品販売業者、病院、診療所、理・美容所、カラオケボックス等で「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のポスターを掲示する。

また、啓発用のリーフレットを配布し、県民、特に青少年に対し大麻等の危害について「一声運動」を実施する。

ウ) 参加者

参加団体、組織の会員等

③横断幕の掲示

長崎県高等学校野球連盟の協力を得て、第106回全国高校野球選手権長崎県大会期間中に、長崎県営野球場（ビッグNスタジアム）と佐世保市営野球場に横断幕を掲示する。

(2)「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金

①期 間

令和6年6月20日（木）から7月19日（金）まで

②実施内容

職域募金、集会募金、街頭募金、募金箱設置により「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金への協力をお願いする。

- ・職域募金 県・市町、その他協力事業所等の職場における募金
- ・集会募金 各地区の協力団体等が主催する集会における募金
- ・街頭募金 ヤング街頭キャンペーン時に行う募金活動
- ・募金箱設置 保健所、市町、事業所等の窓口に募金箱を設置

③参加者

各地域団体組織、その他賛同団体、地方公共団体(県・市町)などの職域、事務所約400か所に依頼